

確率



基礎の牛



独立でない事象

ある事象が他の事象の確率に影響を与えるとき

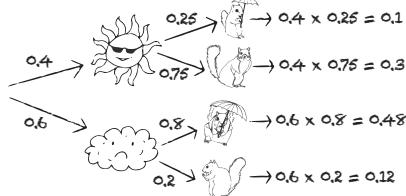
雨が降っているとき、80%の人が傘を持っているとしよう



けれど、雨が降っていないときは、25%の人しか傘を持っていないとする



このとき、降水確率が60%だとしたら...



不確実性と偶然性

普段よく目ににするやつだよ



確率

同じことを何回か繰り返したとき、ある不確かな事象が平均して何回起きるかを予想すること



この運の悪い釣り人が、ゲーツを釣り上げる確率は

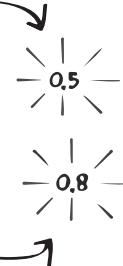
ゲーツを釣り上げる見込みの回数

$$\frac{3}{4} = 0.75 \text{ または } 75\%$$

「魚」を釣り上げる回数

独立な事象

確率がお互いに関係しない事象のこと



これらの事象はお互いに関係しない！

独立な確率は掛け算できる！

つまり、雨が降っていて、コインが表になる確率は...



よくある間違い

確率はあくまで平均なんだ



例の運の悪い釣り人、ゲーツを釣る確率が $\frac{3}{4}$ であっても、4匹続けて魚を釣ってしまうこともあるんだ。

コインを6回連続で表が出たとき、次も表が出る確率はいくつだろう？



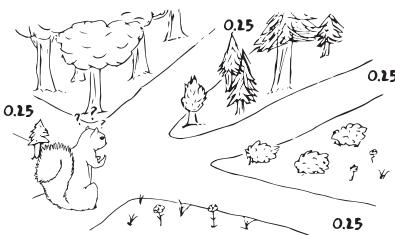
答え：0.5のまま！

$$0.5 \leftarrow \text{表} \rightarrow 0.5$$

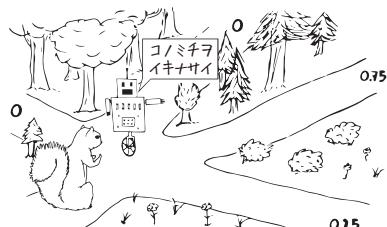
だってコインはお互いに独立だからね！

量子計算

量子計算では、それぞれの結果の起こりやすさを表すために、確率を使用するよ。



そして、量子アルゴリズムは、その確率を正しい結果にならうように調整してくれるんだ！



量子コンピューティングについて もっと知りたいならこちら

<https://www.epiqc.cs.uchicago.edu/resources/>

May 2023

Translated by QCSC, Kyushu University, Japan

This work is funded in part by EPIQC,
an NSF Expedition in Computing,
under grant 1730449

